

自己点検・自己評価報告書

2025年4月14日現在

学校法人西田学園 アルファ医療福祉専門学校

2025年4月14日作成

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	教育理念(「自律から自立へ」)のもと、社会に貢献する医療福祉の専門職人材像を定めている。外部公開のために公式HP・学校パンフレット等に掲載している。
学校における職業教育の特色は何か	3	現場の実務経験を積んだ専任教員を中心に各業界との連携を重視し、理論と実践のバランスのとれた教育を実施。これから将来を担う人材となれるように、ICT教育等の社会情勢も踏まえ、適切な職業教育や現場実習の機会を提供している。
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	3	様々な社会情勢より、移り変わる社会ニーズに柔軟に対応できる人材を養成している。学校の将来としても変化に耐えうる組織構想を抱いている。
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3	公式HPに教育理念や3つのポリシーを掲載している。また入学前募集資料にて学生・保護者へも周知している。
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	定期的に教育課程編成委員会を開催し、関連業界が求める実践的な意見を得て、教育課程・授業計画(シラバス)等の策定をしている。

①現状

近年のめまぐるしい社会変化に耐えうる、柔軟な考え方をもった専門職養成に励んでいる。保護者への周知も出来てきているが、地域への発信や活動には今後の課題あり。

②今後の改善策

年々変化する社会ニーズについては、外部機関からの意見を取り入れて客観的な評価のもと改善を図る。人材育成像等の周知については、HPやSNSを活用し機会は増えている。周りの地域・社会との連携については、各自治体の活動に参加し、地域・社会貢献に励み改善を図る。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
目的等に沿った運営方針を定めているか	4	関連法規のもと養成施設の使命を果たすため、学校運営を行っている。
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	法人本部が策定し、経営会議を経て、理事会に事業計画を提出している。
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	学校運営方針に基き、組織体制を整備し、運営を行っている。
人事、給与に関する規程等は整備しているか	4	教職員の就業規則・給与規定を定めている。
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	教育活動については教育活動月例報告会にて、財務等は理事会が最高意思決定機関として位置づけられて各機関において整備している。
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	養成校指定規則を遵守した上で、学校評議会・教育課程編成委員会や地域社会へのコンプライアンス体制が整備されている。
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3	公式HPにおいて教育活動等の情報公開をしている。
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	教務システム、LMS等で業務効率を進め、業務の効率化を図っている。

①課題

学校運営を円滑に進めるためにも、学内情報の一元化、各基幹管理システムの見直しが課題である。

②今後の改善策

校内に存在する基幹システムの効果の検証および、各システムに与える役割の見直しを行いシステム選定を進める。

(3)教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1
教育理念等に沿った教育課程の編成方針・実施方針が策定されているか	4 教育理念・養成施設指定規則を遵守し、社会のニーズに沿って教育課程の編成方針・実施方針が策定されている。
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 教育理念を軸に各学科ごとに3つのポリシーを策定している。到達目標・学習時間についてはシラバスを用いて学生に適切に周知している。
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 各養成規則をもとに社会ニーズに沿った人材育成を行うことで体系的なカリキュラムに編成している。
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	3 各学科ごとに教育課程編成委員会を設置し、キャリア教育や職業教育のあり方について外部委員の方の意見を取り入れている。
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。	4 当校においては学外実習を通じて、実践的な職業教育が体系的に位置付けられている。
授業評価の実施・評価体制はあるか	4 年に2回、半期ごとに授業評価アンケートを実施している。適切に授業計画通りに実施がされているか確認の上、アンケート結果のフィードバックを行っている。
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3 各学科ごとに教育課程編成委員会等により、外部委員の評価を受けている。
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 学則に基づき判定している。各年度ごとにオリエンテーション時に学生便覧を配布の上、説明をしている。
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 目標資格取得に向けて、ガイダンス等で指導・説明をしている。必要な履修科目については、入学前にカリキュラムブックに落とし込み体系的に理解を促している。
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 養成施設指定規則に則り、教員要件を備えた教員を確保している。
関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3 現場で活躍されている施設長や保育園の園長、特定の専攻分野を研究されている講師を採用している。
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3 教員の専門性を向上させるため、関連業界・団体の研修に参加している。また、校内でも教員の指導力向上を目的とした研修を実施している。
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3 アンケート等での研修内容の希望をとり、どのようなニーズがあるか、また困っている現状があるかをヒアリングして職員への研修を毎年実施している。

①課題

年々多様化する教育活動の状況より、より専門的な教職員への研修体系の整備・仕組み化が課題である。社会情勢の変化に対応できる教職員としての質の向上が必要である。

②今後の改善策

各外部機関とも連携の上、教職員に対しても多様な人材を養成できるよう個別最適化された研修制度の検討を進める。また、専門領域の習得のみならず、実践で活かせる機会の検討を進める。

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
就職率の向上が図られているか	4	キャリア支援課が中心となり各学科・学生を個別でサポート。就職率は向上している。
資格取得率の向上が図られているか	4	各学科ともに、全国平均以上を維持。各学生の学習状況に応じて個別最適化を図っている。
退学率の低減が図られているか	2	昨年度と比較し、退学率の低減は困難な状況であった。退学理由で最も多かった学生生活不適合、学力不振が今後の課題である。
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	定期的に卒業生の活躍状況を把握し、各種授業への参加、インタビューを通して把握している。業界で活躍している方については、学校パンフやHPにも掲載し在校生の学習意欲の向上に役立てている。
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	令和6年度より卒業生が学校に戻れる特定の日をつくり、卒業生後のキャリア形成の効果を把握している。

①課題

卒後の活躍状況については確認できているが、カリキュラムや在校生への著しい還元には活かせていない。

②今後の改善策

令和6年度、ホームカミングデーを全学科で実施が出来たため、卒業生と学校で集まれる機会は創出できた。今後集まれる機会をより効果的にするための仕掛けを検討する。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
進路・就職に関する支援体制を整備されているか	4	入学後の就職ガイダンスの開催、企業説明会の実施、将来のキャリア形成を目的とした授業等により支援している。引き続き各学科教員、キャリア支援課を中心に支援している。
学生相談に関する体制は整備されているか	4	クラス担任・教務課が窓口として対応。相談内容によってスクールカウンセラーや学習支援課と連携している。相談者増より、相談曜日を増設している。
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	奨学金・修学資金制度等の利用について案内。学生が活用しやすいように学内での説明会の実施、相談に応じている。
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	年1回の健康診断を実施している。担任が学生の健康管理についての指導を行っている。
課外活動に対する支援体制は整備されているか	2	授業や学内イベント日以外の日程で会議室・勉強会の場所を提供している。
学生の生活環境への支援は行われているか	2	遠方からの入学者が少ないため、学生寮等の設置はしていない。
保護者と適切に連携しているか	3	入学時に保護者会を実施し、当校の教育方針や今後の学びの概要・スケジュールを伝えている。学生の心理面や学校生活への不安等の問題に対し、担任が学生一人一人の状況に応じて早期に面談(状況によって3者面談)を行っている。
卒業生への支援体制はあるか	3	卒後の研修の機会を用意している。また他分野・領域の知識取得のため、卒業生特典として案内をしている。有資格者としての技術向上を支援し、資格が取れなかった方への再周知、体制整備も検討している。
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	国の助成金・補助金を活用できるように社会人に向けた案内を整備。今後も社会人需要が広がる分野については専用のコースも検討。
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3	近隣高校や重点高校でのガイダンス授業に加え、ニーズに応じて定期的に出張授業を実施している。

①課題

卒業生の管理・支援体制を一元化する必要がある。各研修の実施、有資格者への技術向上支援については適宜案内できる状況があるため、卒業生への一元化された支援体制整備が課題である。

②今後の改善策

卒業生がアクセスしわかりやすく活用できるプラットフォームの整備。また普段の教育活動や各種イベント、学校からのお知らせについて、訴求ができる体制作りを検討する。

(6)教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	令和6年度より4号館が竣工し運営が開始している。また、施設基準は満たしており教室および共有区域などのスペースは確保している。施設・設備について、教育上支障がないように適宜点検し、整備をしている。
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	町田近隣、1都3県を中心に実習体制を整備している。毎年の入学生の居住地や状況に応じて、引き続き学外の教育体制を整備する。
防災に対する体制は整備されているか	3	防災マニュアルを整備し、防災設備の点検を業者立ち合いのもと実施している。

①課題

学生のより良い教育環境での学びを深めるためにも実習施設以外の学外の教育環境整備を図る。

②今後の改善策

学外の教育体制を充実させるためにもインターンシップ制度や各企業・施設との教育連携を図る。

(7)学生の募集と受入れ

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
学生募集活動は適正に行われているか	4	関係機関の定めるルールを遵守し、適正に実施している。募集方法や入学試験の実施の時期等については、学生目線に立ちわかりやすく伝えている。
学生募集活動において、教育効果は適切に伝えられているか	4	学校案内パンフレット・募集要項の内容は、昨年度の振り返りを活かし毎年見直しを行っている。学校説明会等において、教育方針、特色、入試形態、カリキュラム、学費や就職状況等を詳しく説明し適正に行っている。
学納金は妥当なものとなっているか	4	学納金は、各分野の学納金水準は把握しており、同分野の他校と比較して、平均的な学納金の設定となっている。

①課題

学生募集については、社会的需要や現在の学生背景を勘案し適切に周知している。入学後のカリキュラムや学校生活についても、学生自身が教育活動をイメージできるように今後も施策を検討する。

②今後の改善策

医療・福祉の学校であることの独自性を活かし、他校との差別化を図る。職業実践教育機関として、現場が求め人材像を明確にし、入学訴求を行う。

(8)財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	引き続き学生募集が良好。定員充足率も毎年上昇している。固定経費の削減、その他都度発生する経費の圧縮等により、財務基盤を安定させていく。
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	予算作成に際して、理事長の査定を実施し、適切な予算管理を行っている。
財務について会計監査が適正に行われているか	4	会計監査を受け、理事会、評議員会、監事による事業報告と決算書の承認を得ている。
財務情報公開の体制整備はできているか	4	学校のホームページで一般公開している。

①課題

学生募集は良好であるが、途中離脱率に改善の余地がある。引き続き収支全体を考え、費用を抑え経営のスリム化を図る。

②今後の改善策

入学者の安定的な確保、各部門ごとの予算・経費の見直しを図り財政基盤の安定を目指していく。

(9)法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な運営がなされているか	4	関連法令を遵守し、運営している。また、各科指定に基づく法令を遵守し、学校運営・学科運営を行っている。
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	個人情報保護規程を整備し、個人情報の保護に関する法律および関係する法令を遵守し、適正な取り扱いに努めている。
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	関係する諸規程や委員会を定め、文部科学省のガイドライン項目に準拠して実施している。
自己評価結果を公開しているか	3	学校のホームページ上で一般公開している。

①課題

毎年の教育活動について情報公開を通して掲載していく。各種法令を遵守し定期的な見直し、評価を行う。

②今後の改善策

学生・保護者はもちろんのこと、産学官含めた外部機関の視点も意識し、改善を図る。

(10)社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1	
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2	地域との繋がりを再確認し、自治会行事への参加や防災活動において連携をとっている。
学生のボランティア活動を奨励し、支援しているか	3	近隣地域と連携を組み、ボランティア活動の学生への周知、参加の状況あり。今後も地域貢献・社会貢献の活動を促進する。
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	2	令和6年度も東京都の職業訓練生の受託をしている。地域に対する公開講座は現行開催をしていない。

①課題

ボランティア活動を通じた、地域貢献・社会貢献を促進しており、活動に参加できている状況はある。今後、地域との繋がりについて明確なカタチを作り、継続性のある実態を目指したい。

②今後の改善策

産学官連携を図り、定期的な交流や情報交換、地域・社会に根差した活動を協議していく。